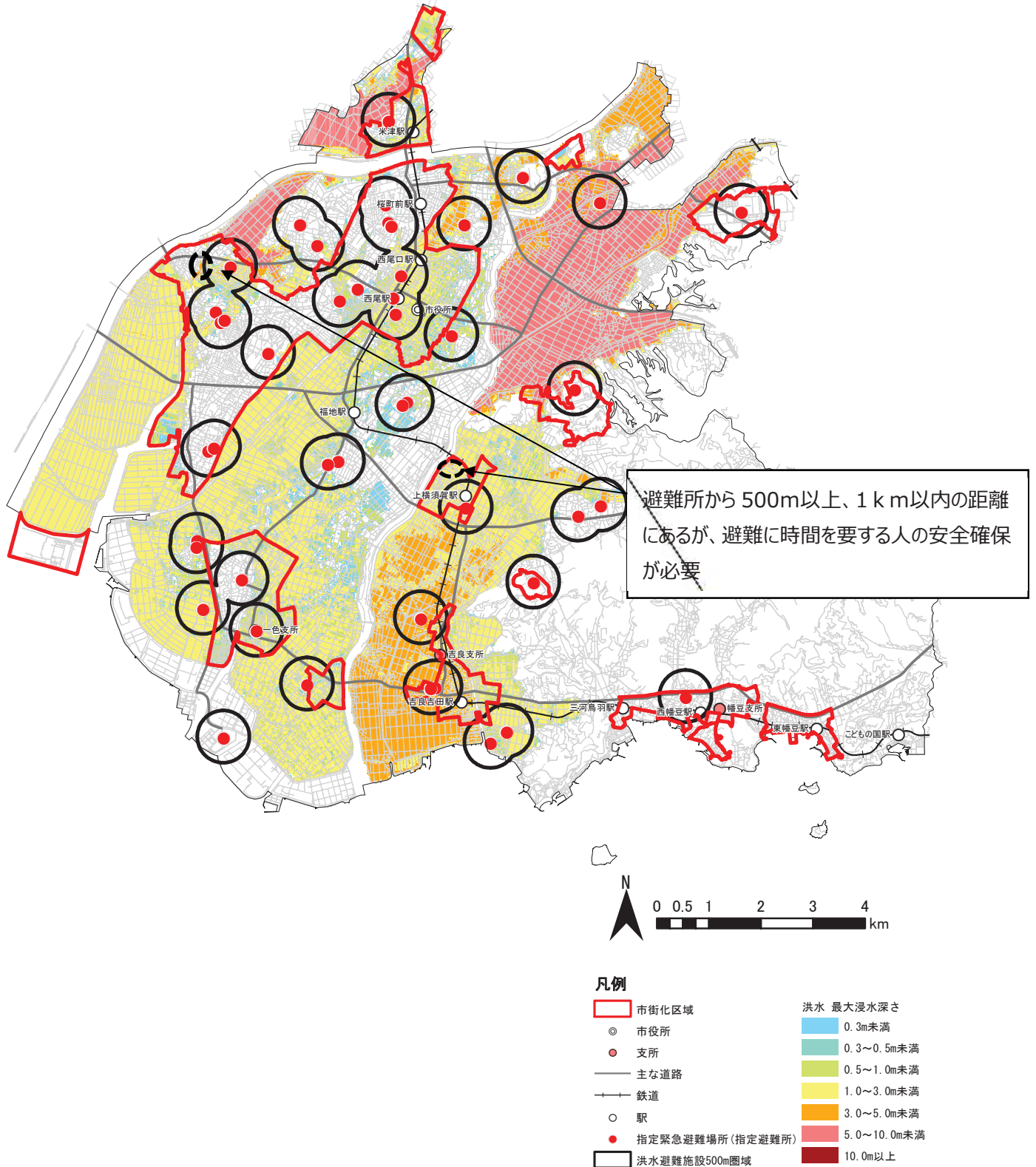


(3) 避難施設の活用が困難

1) 洪水浸水想定区域の浸水深と避難所の立地の重ね合わせによる分析

3 m以上の浸水深と想定される中畑地区、上横須賀駅周辺では、避難所から500m以上、1 km以内の距離にあり、避難に時間を要する人の安全確保が必要です。

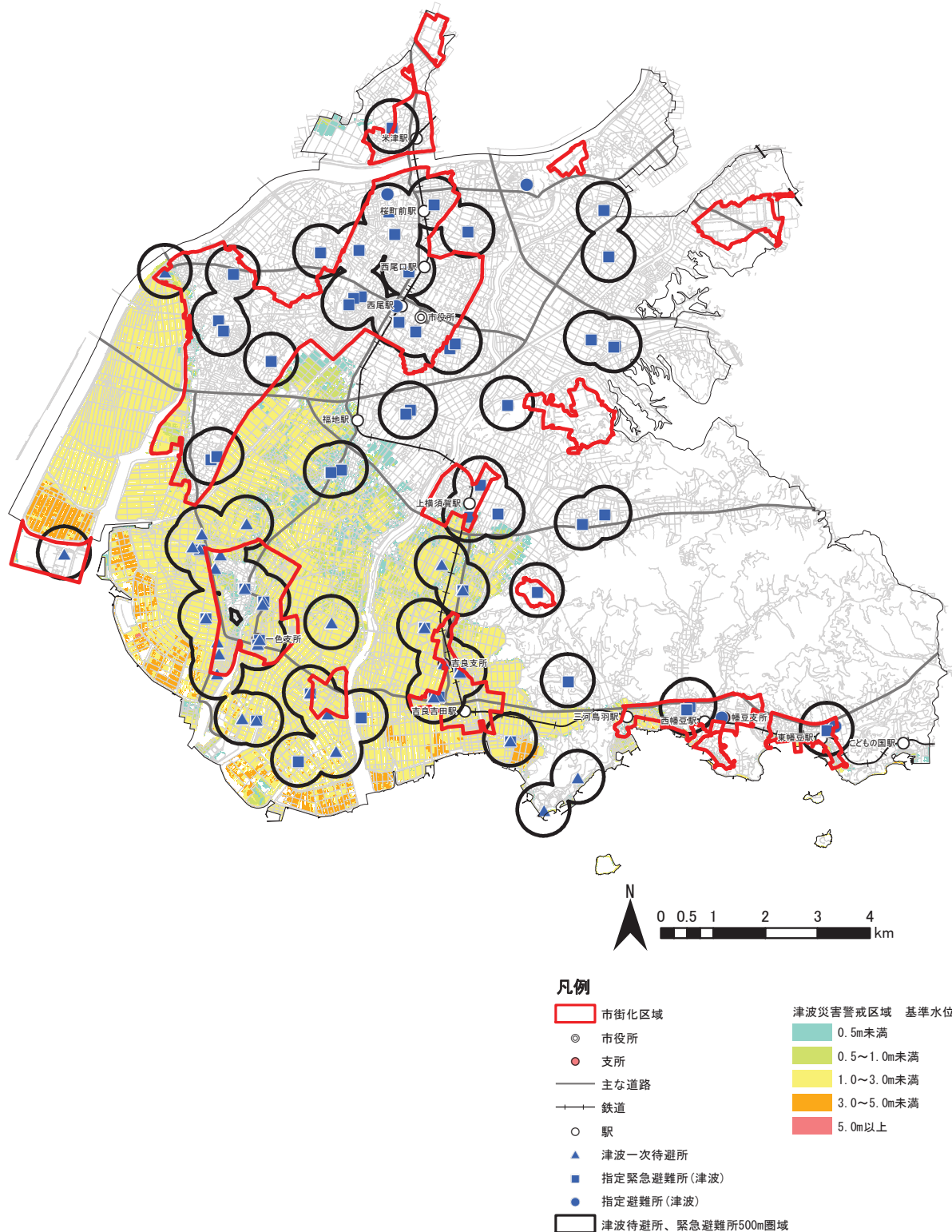
図 洪水浸水想定区域の浸水深と避難所の立地の重ね合わせによる分析



2) 津波浸水想定区域の浸水深と避難所の立地の重ね合わせによる分析

居住誘導区域内及びその周辺で、3 m以上の浸水深と想定される区域はみられず、待避所、避難所等への避難は確保されています。

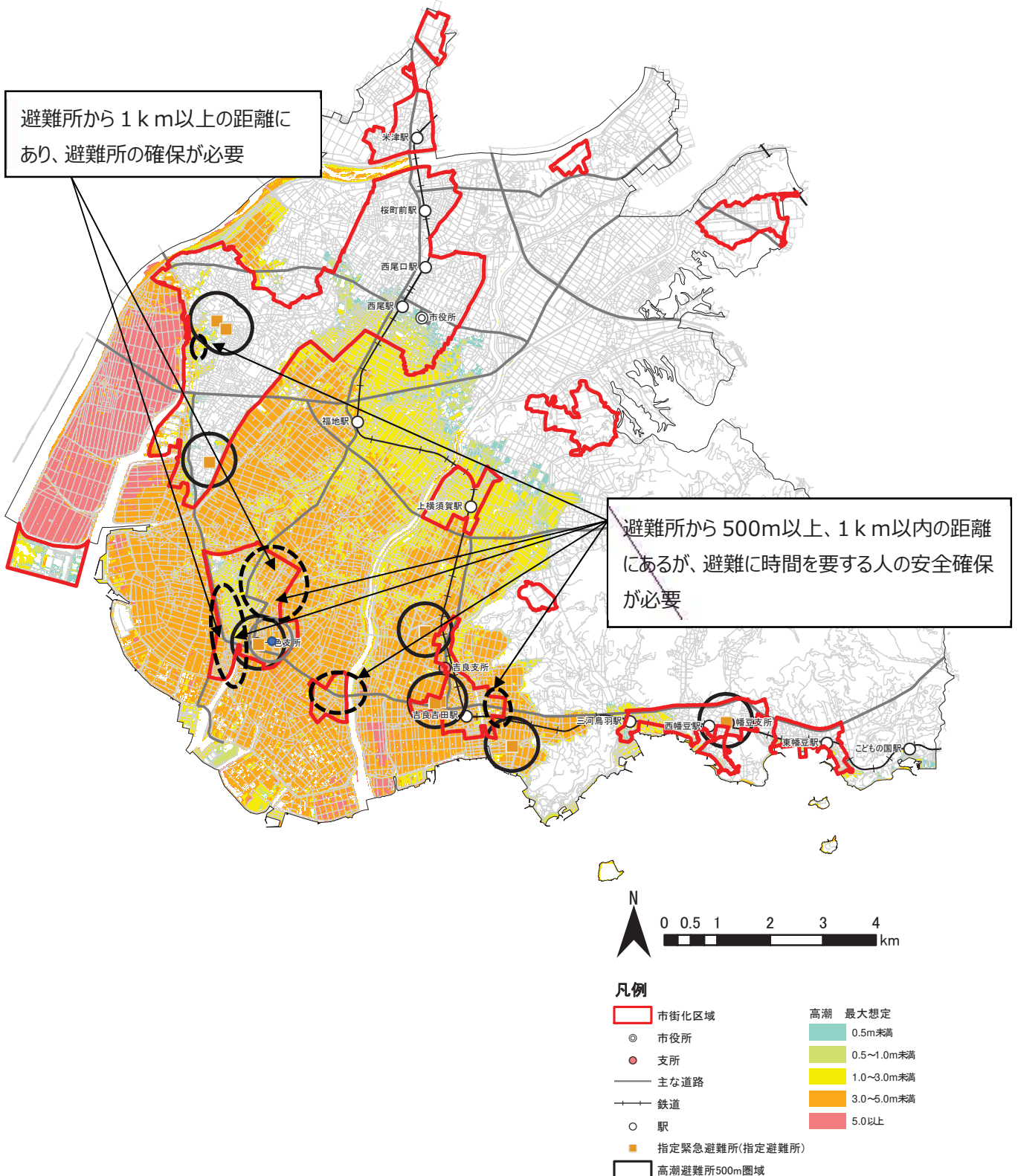
図 津波浸水想定区域の浸水深と避難所の立地の重ね合わせによる分析



3) 高潮浸水想定区域の浸水深と避難所の立地の重ね合わせによる分析

3 m以上の浸水深と想定される平坂地区、一色支所周辺、一色東部地区、吉良吉田駅周辺では、避難所から500mを超えており、特に1 km以上の区域では、事前避難や避難に時間を要する人の安全確保が必要です。

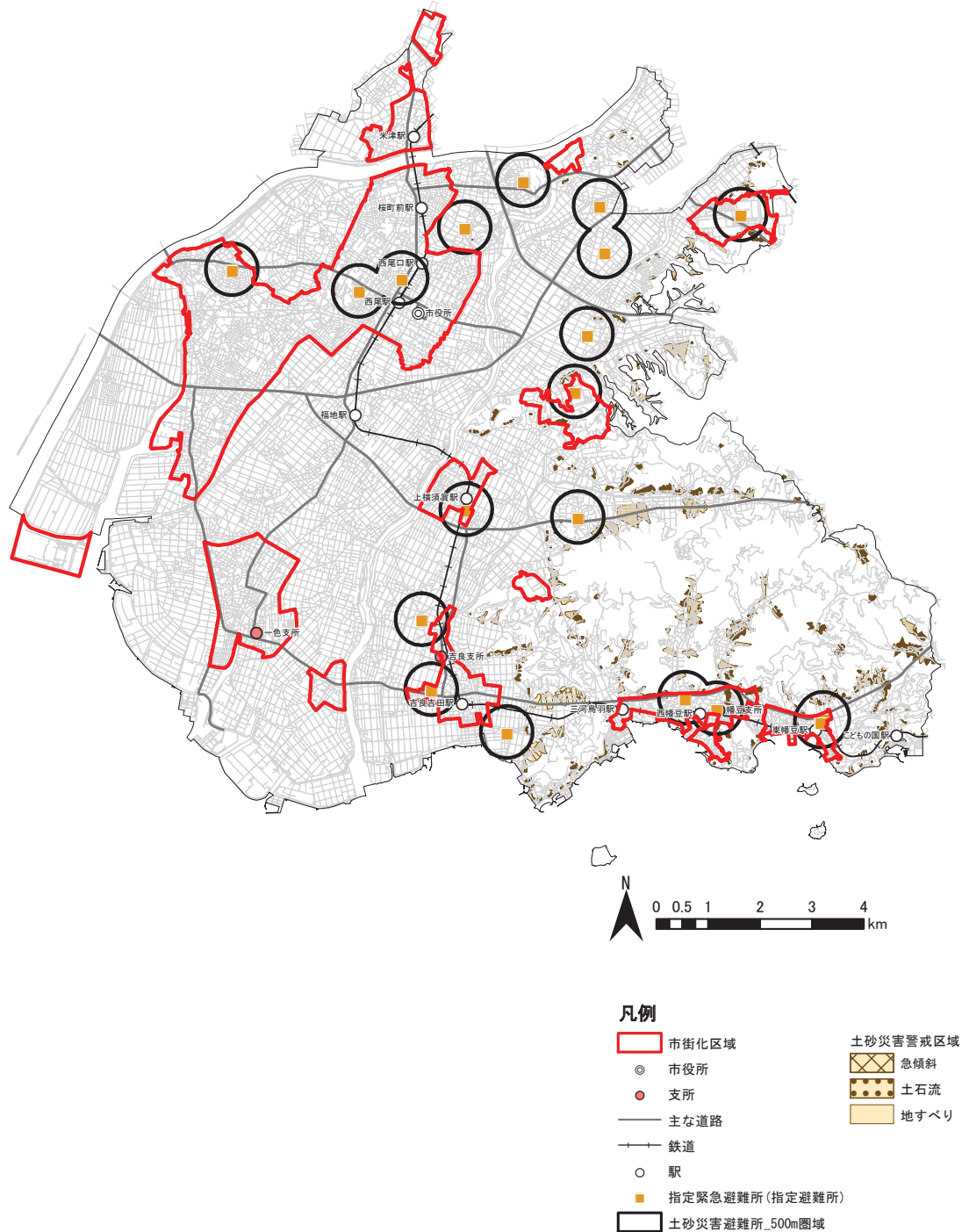
図 高潮浸水想定区域の浸水深と避難所の立地の重ね合わせによる分析



4) 土砂災害警戒区域と避難所の立地の重ね合わせによる分析

幡豆支所周辺の土砂災害警戒区域は、避難所から500m圏内にあります。

図 土砂災害警戒区域と避難所の立地の重ね合わせによる分析



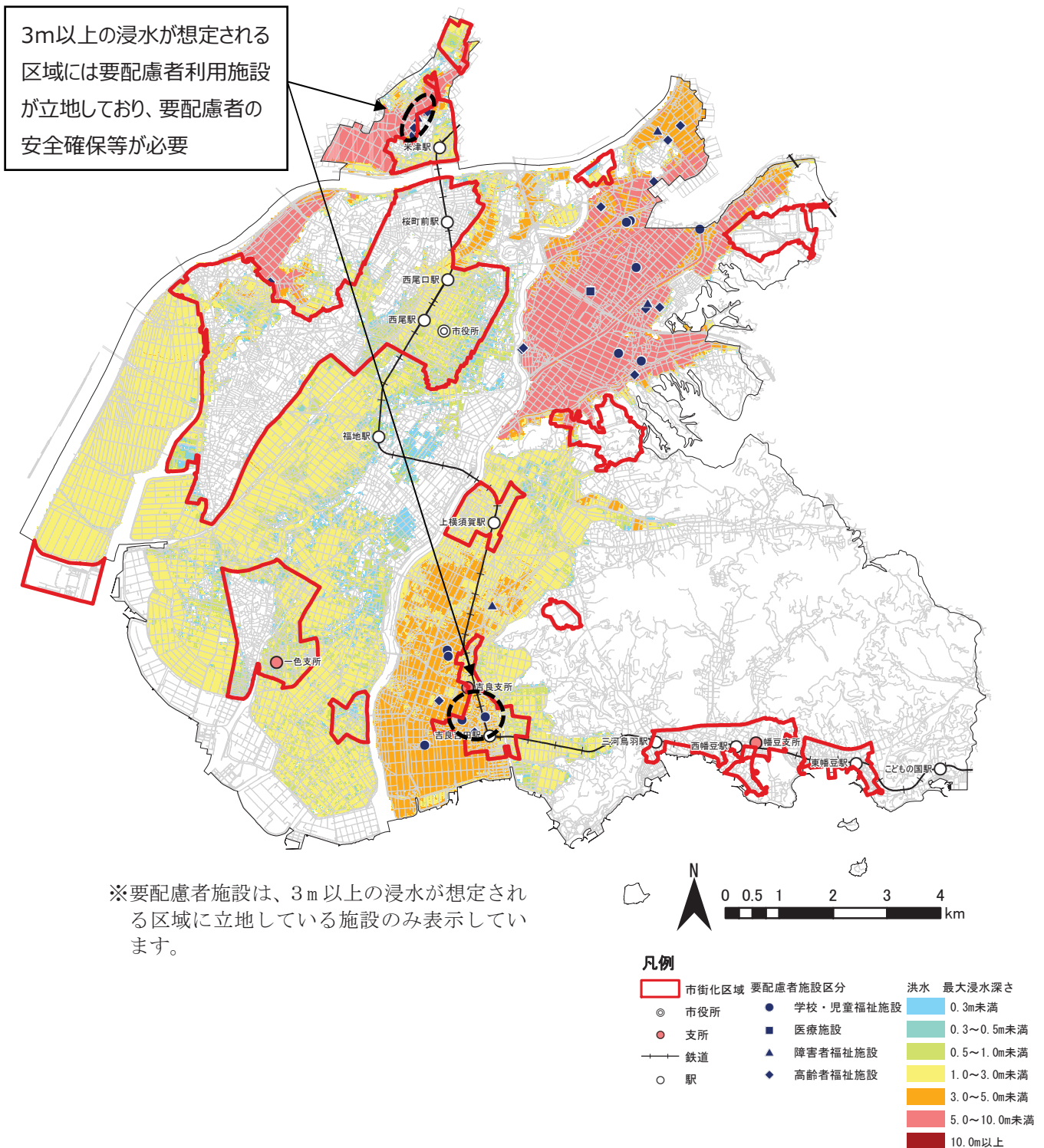
(4) 施設の継続的利用が困難

1) 洪水浸水想定区域の浸水深と要配慮者利用施設の立地の重ね合わせによる分析

市街化区域内で3m以上の浸水が想定される区域に立地する要配慮者利用施設*は、米津駅周辺と吉良吉田駅周辺に7施設立地しています。要配慮者の安全を確保するため、円滑かつ迅速な避難の確保等が必要です。

図 洪水浸水想定区域の浸水深と要配慮者用施設の立地の重ね合わせによる分析

※要配慮者利用施設: 社会福祉施設、学校、医療施設その他の主として防災上の配慮を要する者が利用する施設



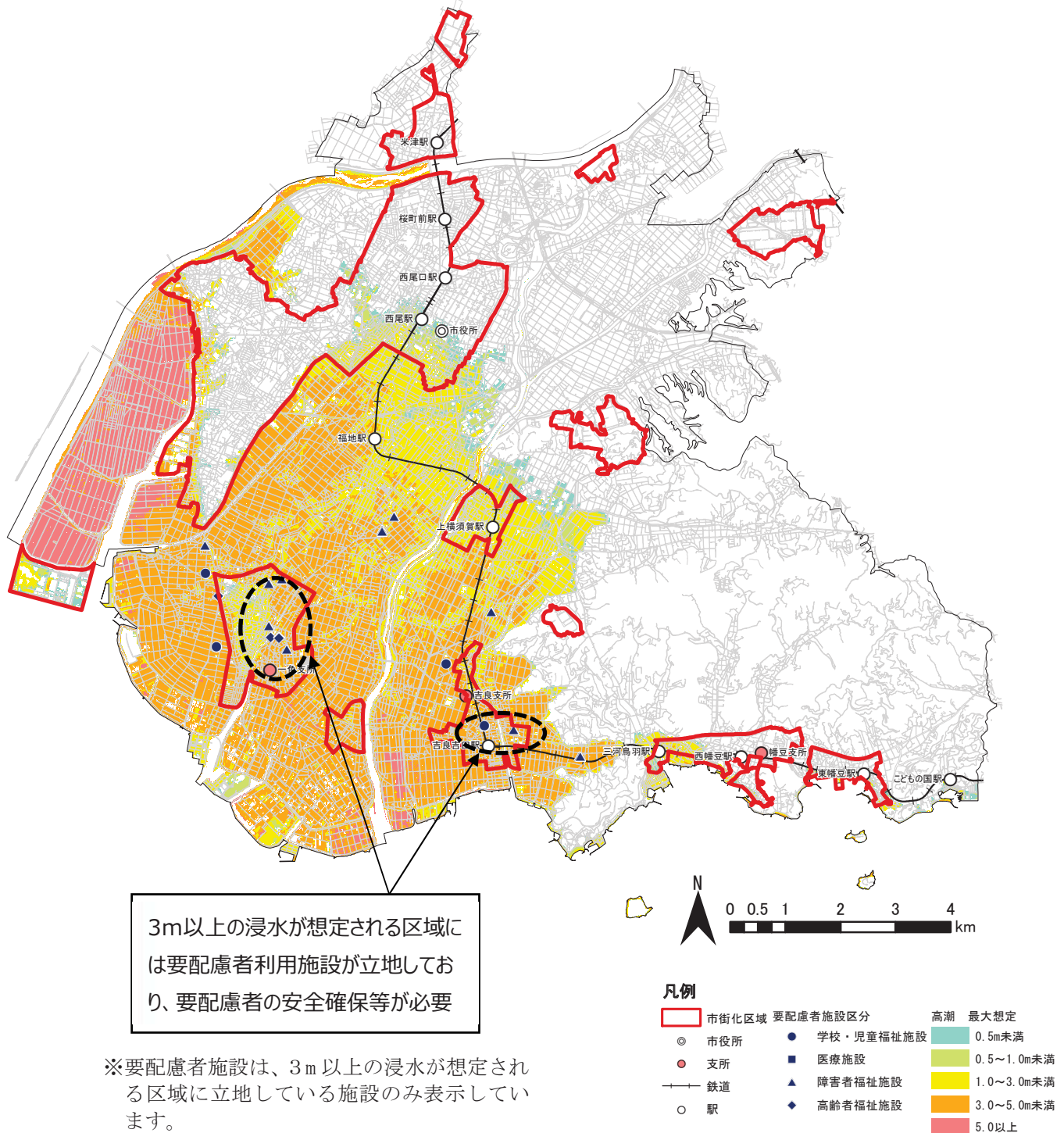
2) 津波浸水想定区域の浸水深と要配慮者利用施設の立地の重ね合わせによる分析

市街化区域以内で3 m以上の浸水が想定される区域に立地する要配慮者利用施設はほとんどみられません。

3) 高潮浸水想定区域の浸水深と要配慮者利用施設の立地の重ね合わせによる分析

市街化区域内で3 m以上の浸水が想定される区域に立地する要配慮者利用施設は、一色支所周辺と吉良吉田駅周辺に8施設立地しています。要配慮者の安全を確保するため、円滑かつ迅速な避難の確保等が必要です。

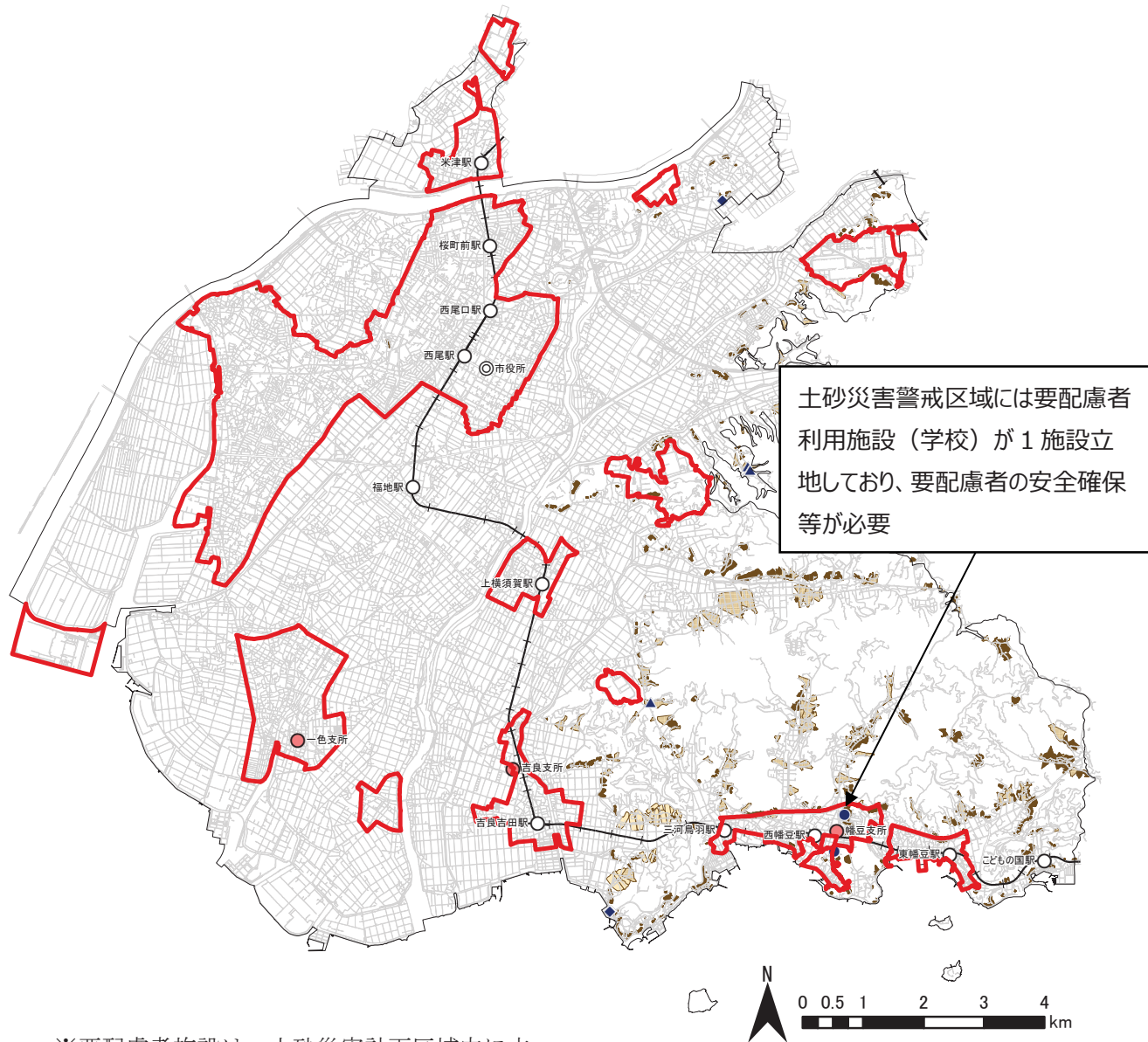
図 高潮浸水想定区域浸水深と要配慮者利用施設の立地の重ね合わせによる分析



4) 土砂災害警戒区域と要配慮者利用施設の立地の重ね合わせによる分析

市街化区域内で土砂災害警戒区域内に立地する要配慮者利用施設は、幡豆支所周辺に1施設立地しています。要配慮者の安全を確保するため、円滑かつ迅速な避難の確保等が必要です。

図 土砂災害警戒区域と要配慮者利用施設の立地の重ね合わせによる分析



※要配慮者施設は、土砂災害計画区域内に立地している施設のみ表示しています。

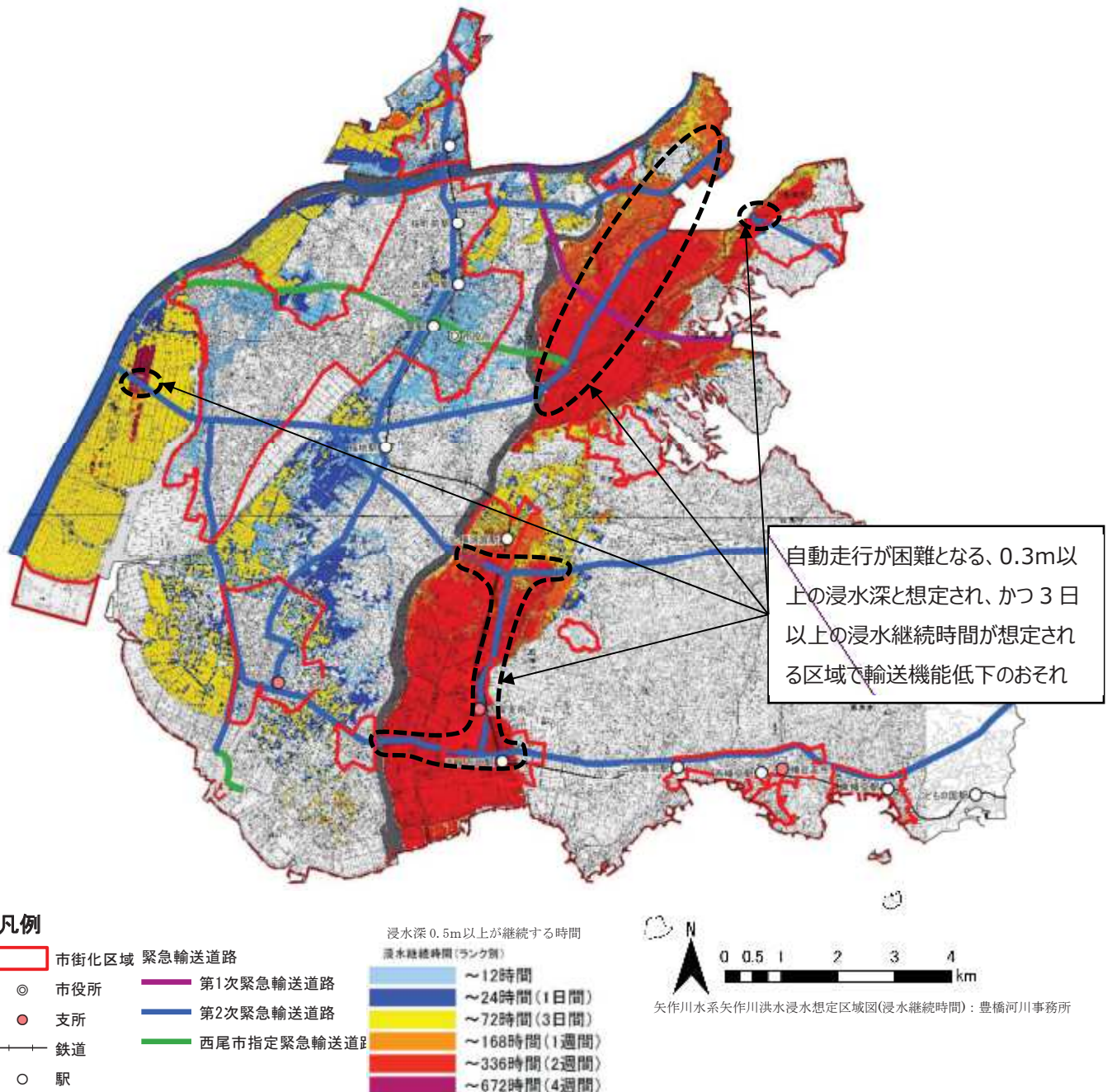
凡例		高潮 最大想定
	市街化区域 要配慮者施設区分	0.5m未満
◎	市役所	0.5~1.0m未満
●	学校・児童福祉施設	1.0~3.0m未満
●	医療施設	3.0~5.0m未満
●	障害者福祉施設	5.0以上
▲	高齢者福祉施設	
—+—	鉄道	
○	駅	

(5) 緊急輸送が困難（道路寸断）

1) 洪水浸水継続時間及び緊急輸送道路の重ね合わせによる分析

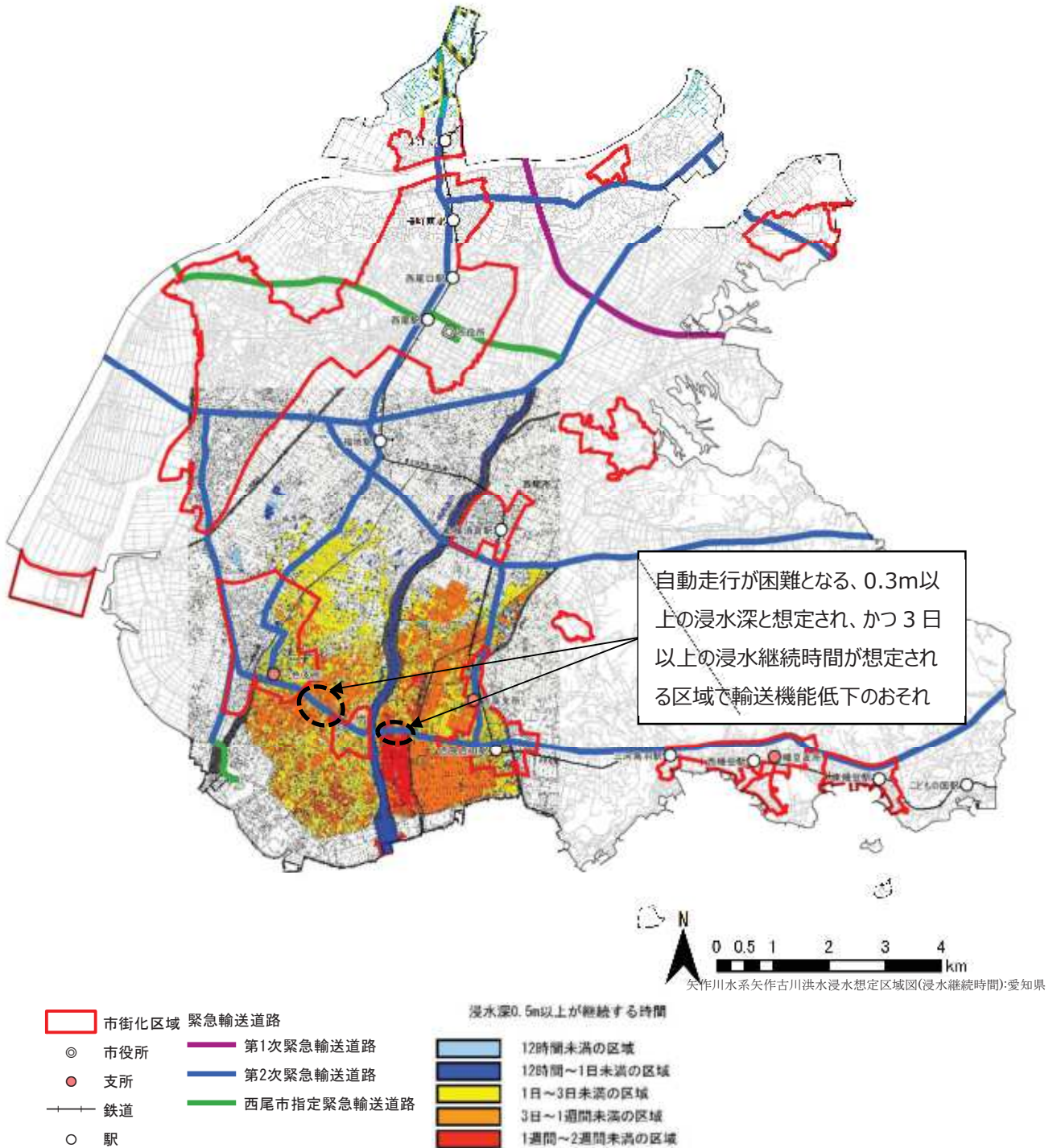
緊急輸送道路において自走走行が困難となる 0.3m以上の浸水深と想定される区域で、3日以上
の洪水浸水継続時間（矢作川）が想定される区域を通る緊急輸送道路は、矢作古川左岸沿いに広く
見られ、また矢作川大橋周辺でも見られます。

図 洪水浸水継続時間（矢作川）と緊急輸送道路の重ね合わせによる分析



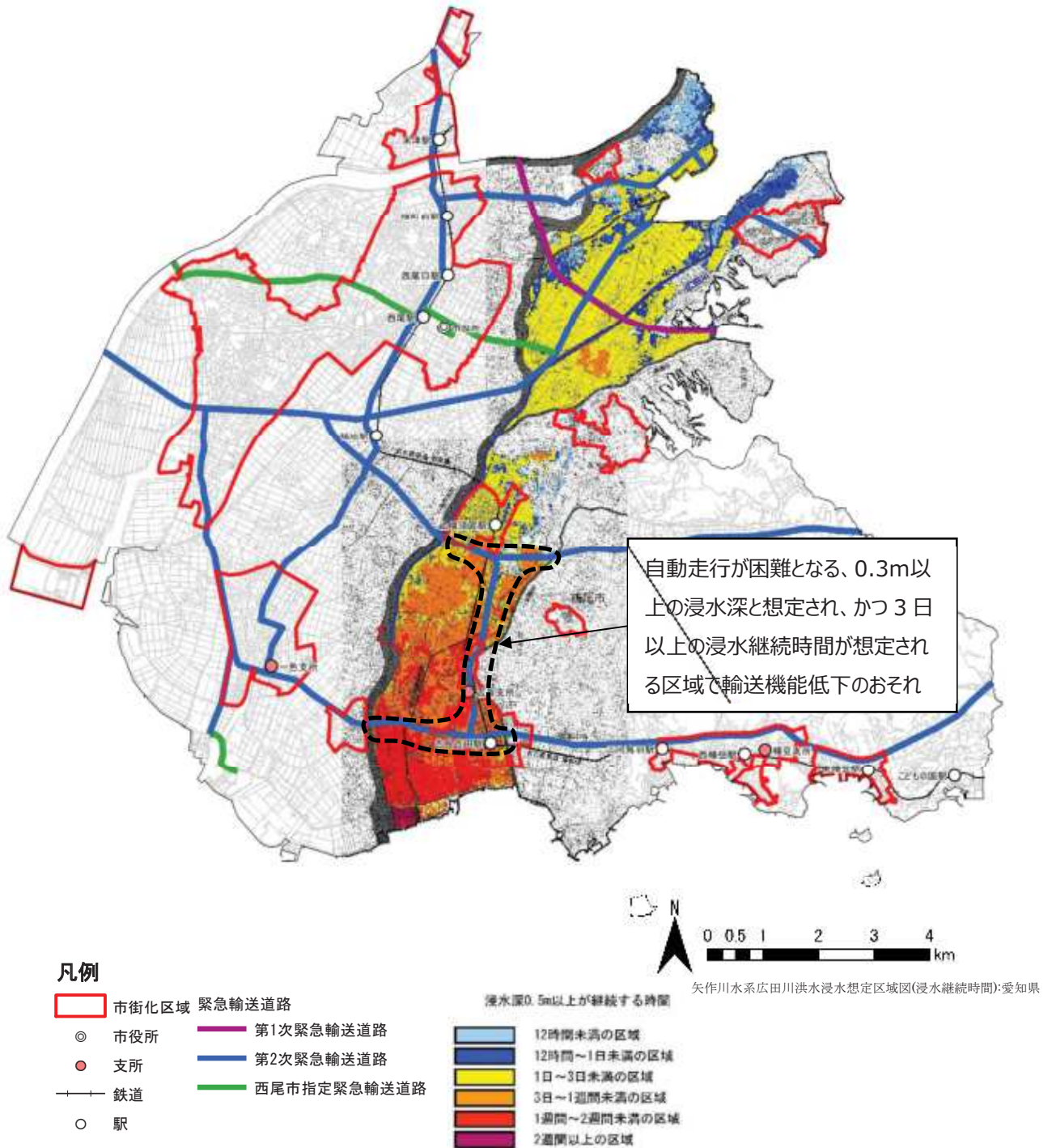
緊急輸送道路において自走走行が困難となる 0.3m以上の浸水深と想定される区域で、3日以上
の洪水浸水継続時間（矢作古川）が想定される区域を通る緊急輸送道路は、松大橋周辺に見られま
す。

図 洪水浸水継続時間（矢作古川）と緊急輸送道路の重ね合わせによる分析



緊急輸送道路において自走走行が困難となる 0.3m以上の浸水深と想定される区域で、3日以上
の洪水浸水継続時間（広田川）が想定される区域を通る緊急輸送道路は、矢作古川に合流後、矢作
古川左岸沿いに広く見られます。

図 洪水浸水継続時間（広田川）と緊急輸送道路の重ね合わせによる分析



2) 高潮浸水継続時間及び緊急輸送道路の重ね合わせによる分析

緊急輸送道路においては、自動走行が困難となる、0.3m以上の浸水深と想定される区域で、かつ3日以上の高潮浸水継続時間が想定される区域は、矢作川大橋周辺と松大橋周辺で見られます。

図 高潮浸水継続時間と緊急輸送道路の重ね合わせによる分析

